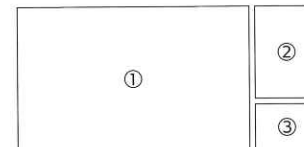




株式会社栄和産業

鉄板加工の「深絞り」技術に強み 障がい者雇用の促進にも注力

1枚の鉄板を伸ばして立体的な製品を作る「深絞り」の技術を武器に、ショベルカーのエンジンフードなど大型の金属プレス部品を製造。従業員数は150人を超え、外国人従業員も40人近く抱える。なかでも伊藤正貴社長は障がい者雇用に力を入れ、養護学校の実習生を積極的に受け入れるほか、重度の知的障がい者も働けるようにと名刺製作の新規事業も立ち上げた。現場では溶接や板金、工作機械の操作といった技術職で活躍する社員も多く、伊藤社長は「健常者と変わらない仕事をこなしてくれ、生産力向上につながる貴重な人材です」と話す。今後は水耕栽培事業にも進出し、水質管理などの分野でさらなる障がい者雇用の拡大を目指す。



①同社の真骨頂である「深絞り」の技術で加工された大型の金属部品。 ②アドバイザーとして同社で働く佐々木一照さん。基準面に沿って製品の平面を確認する工程は熟練の手作業が求められる。「若い人たちに技術を継承するだけでなく、ものづくりの面白さも伝えたい」という。 ③障がい者と健常者が協力し合いながらものづくりに励むのが同社の特長だ。

経営者の声 伊藤 正貴社長

障がい者雇用は人材不足を補う目的だけでなく、企業に求められる社会的な役割でもあります。全ての従業員が働きがいを感じられる職場づくりに取り組んでいます。



名 株式会社栄和産業 ☎ 0467・77・0878 📍 綾瀬市吉岡東4-15-5 🌐 <http://www.eiwa-sangyou.co.jp/>